



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 ヤマエグループホールディングス株式会社 上場取引所 東・福
コード番号 7130 URL <https://www.yamaegroup-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大森 礼仁
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CF0財務部長 (氏名) 長野 正毅 TEL 092-412-0711
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	799,221	6.3	13,872	25.1	14,329	12.9	7,775	11.8
2025年3月期第3四半期	751,654	56.4	11,093	7.8	12,689	17.8	6,955	16.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 10,156百万円(86.8%) 2025年3月期第3四半期 5,437百万円(△38.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	280.21	—
2025年3月期第3四半期	251.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	462,104	99,915	21.0
2025年3月期	399,360	91,654	22.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 97,009百万円 2025年3月期 89,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	70.00	70.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,060,000	5.3	19,000	20.4	20,000	13.8	10,000	17.1	360.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期3Q	27,766,452株	2025年3月期	27,726,852株
2026年3月期3Q	656株	2025年3月期	600株
2026年3月期3Q	27,747,533株	2025年3月期3Q	27,707,936株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当社は、2025年8月6日付で39,600株の譲渡制限付株式報酬としての新株式発行を行っております。
連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該新株式発行の影響を考慮しております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の期間の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信[添付資料] P.3 [1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明]をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当企業グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善の下、緩やかな回復基調が続きました。10月には大阪・関西万博が閉幕しましたが、2025年の訪日外国人旅行者数は初めて4,000万人を突破し過去最高を更新するなど、外食産業を中心に国内旅行者やインバウンド需要が堅調に推移いたしました。日経平均株価は2026年に入っても5万円台を維持する一方で、米国の通商政策の動向や不安定な国際情勢・地政学リスク、変動の激しい為替相場、国内では混沌とする政局をはじめ、人手不足、原材料・エネルギー価格の高騰や円安による物価の上昇を受けて消費者の生活防衛意識・節約志向が高まるなど、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境の下、当企業グループは、「流通のトータルサポーター」として、グループ一丸となってサプライチェーン全体の発展に寄与すると同時に、川上から川下までありとあらゆる場面においてビジネスをプロデュースする企業集団として、総合力を活かした営業体制の構築に努めるとともに、最終年度を迎えた中期経営計画「Progress Go'25」で掲げた基本戦略（「ガバナンス強化」、「サステナビリティ戦略」、「M&A戦略」、「エリア・物流戦略」）や投資計画の着実な遂行により、持続的な成長に向けた事業基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,992億21百万円（前年同四半期比6.3%増）となり、475億66百万円の増収となりました。

利益面におきましては、販売面における競争の激化や、エネルギー価格上昇に伴う水道光熱費や物流費の高騰など利益の押し下げ要因がありましたが、グループ全体で業務の見直しや効率化に取り組むことで経営基盤の強化を図り、営業利益は138億72百万円（前年同四半期比25.1%増）、経常利益は143億29百万円（前年同四半期比12.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は77億75百万円（前年同四半期比11.8%増）となり、売上高並びにすべての利益項目において過去最高を更新いたしました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（食品関連事業）

食品関連事業におきましては、飲食料品値上げは2025年通年で累計2万609品目にのぼりましたが、2026年も年間で約1万5,000品目が見込まれるなど依然として物価上昇が続く中、消費者の生活防衛意識がより高まっており、販売面における同業他社との競争が激化しております。また、エネルギー価格上昇に伴う水道光熱費や物流費の高騰など利益の押し下げ要因がありましたが、インバウンド需要が引き続き好調に推移し、外食産業を中心に需要が堅調に推移していることに加え、2024年10月に稼働を開始した福岡市東区のコンビニ向け弁当工場の稼働率が徐々に改善しております。

この結果、売上高は6,142億71百万円（前年同四半期比6.8%増）となり、セグメント営業利益は93億12百万円（前年同四半期比20.5%増）となりました。

（糖粉・飼料畜産関連事業）

糖粉関連事業におきましては、国内観光客およびインバウンド需要の増加により土産物や外食需要が好調に推移し、砂糖・小麦粉・油脂など食品原材料の販売が増加いたしました。また、米穀関連ではコメ5キロ当たりの平均価格（税込）が昨年9月から4,000円台で推移するなど高止まりが長期化しています。

飼料畜産関連事業におきましては、円安の進行とトウモロコシや大豆粕の値上がり等で4期ぶりに配合飼料供給価格が引き上げとなる中、技術指導、経営支援などの機能を発揮することにより、既存取引先のシェアアップや新規取引先の獲得に努めました。また、卵価は「エッグショック」と呼ばれた2023年を超える水準となっています。円安を背景にした輸入飼料の高止まりや、温度管理を必要とする鶏舎の電気料金の上昇などに加え、鳥インフルエンザの感染が広がり、価格が高騰しています。

この結果、売上高は952億97百万円（前年同四半期比8.4%増）となり、セグメント営業利益は33億8百万円（前年同四半期比26.8%増）となりました。

(住宅・不動産関連事業)

住宅・不動産関連事業におきましては、前連結会計年度にグループ入りした株式会社不動産のおおさわなどの子会社業績が寄与いたしました。資材価格や人件費・物流費の高騰に伴う住宅価格の上昇、日銀の利上げによる住宅ローン金利の引き上げといった要因から住宅取得希望者の購入意欲低下が見られたことに加え、昨年4月の改正建築物省エネ法や改正建築基準法の全面施行前に起こった「駆け込み着工」の影響で、新設住宅着工戸数が同年4月以降大きく減少しました。夏場以降は持ち直しつつありますが、前年同月比では10月を除いてマイナスの状態が続いております。このような環境の下、プレカットを受注した物件に対する木材・建材のトータル提案を強化し、グループシナジーの発揮に努めました。

この結果、売上高は738億68百万円（前年同四半期比3.7%増）となり、セグメント営業利益は20億66百万円（前年同四半期比15.3%増）となりました。

(その他)

レンタカー事業におきましては、訪日外国人が過去最多を更新するなど需要が拡大する一方で、業界全体が右肩下がりになり成長していることから新規参入の事業者が増加し、価格競争が激化しております。

運送事業におきましては、深刻な人手不足、燃料価格の高騰など厳しい環境が続いておりますが、物流品質の向上やグループ内の物流資源の共有・活用などの効率化に積極的に取り組むことで業績の向上に努めました。

この結果、売上高は、157億83百万円（前年同四半期比10.0%減）となり、セグメント営業利益は7億95百万円（前年同四半期比33.0%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ627億44百万円増加し、4,621億4百万円となりました。主な要因は、「現金及び預金」が124億63百万円、「受取手形、売掛金及び契約資産」が276億13百万円、「商品及び製品」が100億5百万円及び「販売用不動産」が49億20百万円増加したためであります。

負債におきましては、前連結会計年度末に比べ544億83百万円増加し、3,621億89百万円となりました。主な要因は、「長期借入金」が118億63百万円減少したものの、「支払手形及び買掛金」が528億56百万円及び「流動負債その他」が121億33百万円増加したためであります。

また、純資産におきましては、前連結会計年度末に比べ82億60百万円増加し、999億15百万円となりました。主な要因は、「利益剰余金」が58億34百万円及び「その他有価証券評価差額金」が21億40百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日に公表いたしました連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,992	56,455
受取手形、売掛金及び契約資産	93,988	121,601
電子記録債権	2,288	2,881
商品及び製品	26,337	36,343
仕掛品	1,059	1,080
未成工事支出金	153	263
原材料及び貯蔵品	3,233	4,014
販売用不動産	4,466	9,386
仕掛販売用不動産	9,626	11,480
その他	22,277	23,761
貸倒引当金	△1,144	△1,126
流動資産合計	206,280	266,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	46,982	45,585
土地	48,920	49,324
その他（純額）	20,623	23,994
有形固定資産合計	116,526	118,904
無形固定資産		
ソフトウェア	1,798	5,444
のれん	37,123	33,759
その他	3,943	560
無形固定資産合計	42,866	39,764
投資その他の資産		
投資有価証券	20,238	23,710
退職給付に係る資産	2,547	2,529
その他	11,501	11,681
貸倒引当金	△600	△627
投資その他の資産合計	33,687	37,292
固定資産合計	193,079	195,962
資産合計	399,360	462,104

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	125,146	178,003
電子記録債務	8,151	8,577
短期借入金	22,534	25,703
1年内償還予定の社債	303	237
1年内返済予定の長期借入金	16,237	16,373
未払法人税等	4,674	2,771
契約負債	555	834
賞与引当金	3,056	1,495
その他	27,932	40,065
流動負債合計	208,593	274,061
固定負債		
社債	369	216
長期借入金	74,544	62,681
役員退職慰労引当金	793	932
退職給付に係る負債	1,752	1,923
資産除去債務	1,035	1,044
その他	20,616	21,330
固定負債合計	99,112	88,127
負債合計	307,705	362,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,224	9,275
資本剰余金	1,581	1,645
利益剰余金	71,258	77,092
自己株式	△1	△1
株主資本合計	82,063	88,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,579	8,720
為替換算調整勘定	△180	△270
退職給付に係る調整累計額	698	547
その他の包括利益累計額合計	7,098	8,997
非支配株主持分	2,493	2,905
純資産合計	91,654	99,915
負債純資産合計	399,360	462,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	751,654	799,221
売上原価	661,118	699,589
売上総利益	90,536	99,631
販売費及び一般管理費	79,443	85,759
営業利益	11,093	13,872
営業外収益		
受取利息及び配当金	260	315
仕入割引	63	100
持分法による投資利益	1,163	-
その他	1,225	1,598
営業外収益合計	2,712	2,014
営業外費用		
支払利息	710	973
持分法による投資損失	-	175
貸倒引当金繰入額	91	22
その他	313	386
営業外費用合計	1,115	1,558
経常利益	12,689	14,329
特別利益		
固定資産売却益	76	227
投資有価証券売却益	304	-
関係会社株式売却益	-	745
負ののれん発生益	95	485
受取保険金	-	99
特別利益合計	476	1,558
特別損失		
固定資産除売却損	93	62
減損損失	22	-
災害による損失	-	72
特別損失合計	115	135
税金等調整前四半期純利益	13,050	15,751
法人税、住民税及び事業税	6,002	7,120
法人税等調整額	△383	399
法人税等合計	5,618	7,520
四半期純利益	7,431	8,231
非支配株主に帰属する四半期純利益	475	456
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,955	7,775

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	7,431	8,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,886	2,162
為替換算調整勘定	17	△90
退職給付に係る調整額	△75	△151
持分法適用会社に対する持分相当額	△49	4
その他の包括利益合計	△1,994	1,925
四半期包括利益	5,437	10,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,905	9,674
非支配株主に係る四半期包括利益	531	482

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食品関連事業	糖粉・飼料畜産 関連事業	住宅・不動産 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	574,967	87,896	71,260	734,124	17,530	751,654	—	751,654
セグメント間の内部 売上高又は振替高	196	799	794	1,790	5,736	7,526	△7,526	—
計	575,164	88,695	72,054	735,915	23,266	759,181	△7,526	751,654
セグメント利益	7,728	2,609	1,792	12,130	598	12,729	△1,636	11,093

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、燃料関連事業、レンタカー事業、情報処理サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,636百万円には、セグメント間取引消去2,046百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,682百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食品関連事業	糖粉・飼料畜産 関連事業	住宅・不動産 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	614,271	95,297	73,868	783,437	15,783	799,221	—	799,221
セグメント間の内部 売上高又は振替高	248	1,345	1,146	2,740	5,966	8,707	△8,707	—
計	614,520	96,643	75,014	786,177	21,750	807,928	△8,707	799,221
セグメント利益	9,312	3,308	2,066	14,687	795	15,483	△1,610	13,872

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、燃料関連事業、レンタカー事業、情報処理サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,610百万円には、セグメント間取引消去2,828百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,439百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	5,382百万円	6,047百万円
のれんの償却額	3,783 "	3,432 "

(重要な後発事象)

該当事項はありません。